



ポンプ操法審査会で訓練成果披露

7月12日、小郡市消防団がポンプ操法審査会を行いました。予定していたポンプ操法大会が荒天中止となり1週間遅れの開催となりましたが、厳しい暑さに負けず、日頃の訓練の成果を発揮し、迅速かつ的確な操法技術を披露しました。

地域の皆さんをはじめ、多くの観覧者から送られた拍手や声援が、団員たちの大きな励みとなりました。訓練の間中も含め、たくさんの温かい応援をありがとうございました。

【優勝】第7分団(東野校区)

【準優勝】第4分団(御原校区)

【第3位】第5分団(味坂校区)



みくに野団地区で安否確認訓練

6月14日、みくに野団地区で初の災害時安否確認訓練が実施されました。昨年から「救える命を見落とさない」をテーマに安否確認方法を検討してきた自主防災組織を中心に、地域全体で訓練に取り組みました。

みくに野団地公民館に災害対策本部を設置し、隣組長が組内の安否情報を取りまとめて報告。全世帯の6割弱の安否を確認しました。

参加者からは「大地震が起きたときに安否を伝えられるか分からないので、訓練を続けてほしい」との声が聞かれました。地域の防災力向上をめざし、今後も訓練を継続していきます。



みい青年会議所×松崎区 ～次世代につなぐ桜の木～

6月27日、みい青年会議所と松崎区が、区内の桜並木に新たな桜を植樹しました。

この活動は、長年にわたり地域の皆さんが大切に守り続けてきた桜並木を次世代へと受け継ぎ、自然の大切さや地域への愛着を育むことを目的に実施されたもので、こどもから大人まで多くの地域住民が参加しました。

参加した立石小学校6年生の鈴木睦斗(りくと)さんは「植えた桜が枯れずに大きく育ってほしい。薬剤師になる夢が叶う頃に、桜がどれくらい大きくなっているか楽しみ」と、明るい将来への思いを語りました。

また、区内にある九州国際学院に技能実習生として来日しているインドネシア出身のアディさんとフスナさんからは「松崎区にいい思い出ができました。これから桜が大きくなるのを見に、また戻ってきたい」と喜びの声が聞かれました。

今回の事業を企画したみい青年会議所理事長の松本良太さんは「地域の自然が人々の心に寄り添い、故郷を思う気持ちにつながればと思います。皆さんのご協力に感謝します」と語りました。

